日本キリスト教団 東金教会〔１１〕

2019年3月17日復活前第５主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	岡村	
奏楽	中村	
受付	阿部内	
案内	寺川	
名札係	森延	
礼拝感謝祈祷	安田	
〃　〃	五木田	
前奏	中村	
讃美歌	67	一同
使徒信条	566	〃
交読文	11	司・会衆
主の祈り	564	一同
聖書	ルカ福音書11：14～26	司会者
祈祷	岡村	
新聖歌	103	一同
み言葉の伝え	朴	
〈助けに来て下さる神〉		
讃美歌	124	一同
献金		
礼拝感謝	安延	
〃　〃	五木田	
報告	岡村	
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)	朴	
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 3月20日(水)休会
早天祈祷会 月-金7時(除日・祭日)メーヤー館
交わり会 本日礼拝後
婦人会・信交会
青年会 本日「交わり会」後
聖書輪読会 3月２４日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 3月２４日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日より「礼拝のごあんない」の栞が受付に置かれることになりました。これは私たちの教会がどのような信仰の心をもって礼拝に与るかを簡単に説明したものです。参考にして下さい。
☆本日は交わり会が持たれます。皆様ご出席下さい
☆3月13日(水)ときがね幼稚園第91回卒園式が主の御祝福の内に守られました。これからも幼稚園・保育園の働きが主の導きの下、つつがなく営まれますようご加祷下さい。
☆３月２０日(水)の祈祷会は幼稚園の都合により休会とさせて頂きます。
☆３月３１日の礼拝は梅田　　先生に講壇を守って頂きます。ご加祷下さい。

【定期長老会報告】

日時…2019.3.10　場所…教会事務室
出席…中村牧師　朴牧師　藤本　(書記)
宮中　安延　藤田
議事…①教会・幼・保行事予定(3/11支区常任委員会 13-幼稚園第91回卒園式(祝辞・足立長老) 17-交わり会 20-2018年度幼稚園終了式 24-ＣＳ教師会・説教勉強会 31-礼拝委員会 4/8-幼稚園2019年度始業式 11-幼稚園入園式(祝辞・安延長老) 14-ＣＳ進級式 定期長老会(総会準備:予算決算検討 各種事業報告等・自動車送迎事業検討) 16-幼稚園PTA総会 16～幼稚園平常保育 19-受難日祈祷会 21-早天祈祷会・ＣＳ及び教会イースター礼拝 22-幼・保イースター 支区総会 ②教会総会の件〔5/19開催 4/14定期長老会にて議事等検討 5/5総会資料提出締切日 5/12資料検討〕 ③「礼拝のご案内」文検討・3/17より使用決定 ④プロジェクター設置及び使用の件--他教会の使用状況を参考にし、設置は専門家に相談する。投影の内容は礼拝委員会で検討 ⑤会員送迎の件--運転者及び費用・保険料等次回長老会で検討

【3月17日～3月23日の誕生者】

○戸波　姉　○林　　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(３/３)	１１	２８	３９
聖研祈祷会(3/13)	3	4	7
聖書輪読会(3/10)	1	4	5
教会学校(３/３)	3	9	１２

早天祈祷会			
日	男	女	計
3/11	1	1	2
3/12	1	1	2
3/13	1	1	2
3/14	1	1	2
3/15	1	2	3

主日礼拝献金(３/１０)……２８,１００円
教会学校献金(３/１０)……５,８００円

【今日のメッセージ】

題　［助けに来て下さる神］
聖　書　ルカ福音書１１:１４～２６

1・悪より救い出したまえ

2・主イエスを妨げるもの

3・主の保護のもとに

【次週(３月２４日)礼拝案内】

題　〈キリストにあって一つ〉
聖　書　コロサイ書3:9b～１１
交読文　１２
讃美歌　１１番　２３９番
新聖歌　４２９番

【次週(３月２４日)礼拝式当番】

御言葉の伝え…	中	村立
司式者…	足	里本
奏楽者…	中	延村
受付者…	澤	村田
案内者…	安	立諭
名札当番…	岡	林田
礼拝感謝祈祷…	岡	
〃　〃…	武	
ｃｓお話し…	足	
会堂清掃者…	幼稚園教	
〃　〃…		
花係…	小	
看板書き…	藤	

【聖書から】

「今はその凡てを、即ち、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る恥ずべき言葉を捨てなさい」

コロサイ書三章八節

聖書はここで私たちに不可能なことを強いているように思える。すなわち此処ではひとりの者として情欲と物欲を中心とした捕われからの解脱を求め(5節)、次には隣人に対するその関係においてもそれを害する振舞をするなと言う。けれども人が己の生を生き抜くにはこれらのことから自由になることは不可能と思う。また、それと同時に、これらの己自身に巣食う罪、そして隣人に対する罪がこの世全体を苦しめ、害する根本原因になっていることも動かし難い事実である。と言う訳で、人がこの世に生きるにはこの二律背反の中を必然的に生きざるを得ないのである。聖書はこのような人間的現実を無視することを私たちに求めているとは思われない。また無視しろと云われても無視しようがない。そのような中で聖書が語るのは独り、主イエスのみが全く罪を犯さず、全き人であられたことであり、その他の者は全て、己自身を痛め傷つけ、罪に身を沈めさせ、同時に他者に罪を犯し世を痛める者としているのである。そのことを直視するなら私たちには本当に救いはないことを思わされる。私たちの平凡な日常に浸り切った生活の中ではこの事実は見えない。けれども押し詰められ、罪の圧迫の中に置かれ、己の眞の姿を直視させられる時、初めて己がどれほど罪の縄目にがんじがらめに縛られているかが分かる。そしてその罪の鎖に縛られていない者は主イエスを除いて一人もいない。この文書の作者であるパウロとて罪に縛られている者の一人にすぎない。パウロはこのような己の現実をよくよく知っていたであろう。けれどもパウロは彼はその事実を知りつつそこからの解放の期待を神に賭けるのである。罪の闇の濃さを知れば知る程、その解放者はただ独りなる主イエスしかないことを思う。不可能の中に生きつつ、尚、希望を与えて下さる一人の方を信じなければ私たちの生はない。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。